

デジタル水産業戦略拠点整備事業 宮城県石巻地域（石巻圏域デジタル水産業戦略拠点推進協議会）

漁場形成の変化や天然資源の減少、養殖業におけるへい死被害や枯死被害の発生等により生産が安定せず、計画的な生産及び安定した漁家経営が課題。

宮城県石巻市の基幹産業である水産業を中心として、スマート技術等を活用しながら生産、流通、加工、小売りから消費に至るまで点在している情報を共有できるプラットフォームを構築・活用することで、人材育成のほか、限られたリソースの共有などの最適化を町全体で図ると共に、持続可能な水産都市の構築を目指す。

構成員

【石巻圏域デジタル水産業戦略拠点推進協議会】

- ・宮城県漁業協同組合
- ・石巻魚市場株式会社
- ・石巻市産業部水産課
- ・石巻専修大学理工学部
- ・宮城県東部地方振興事務所水産漁港部
- 他

対象地域

宮城県石巻地域



提供元: Bing
© GeoNames, Microsoft, Zenrin

検討事項

以下の項目について、今後デジタル化を進めるための地域計画を検討

①市場業務のデジタル化

- ・市場取引業務電子化や水揚情報電子収集システムの開発により、アナログな業務手法の改善、担い手不足への対応、水揚情報の標準化や一元管理等を踏まえ、ワンスオンリーの実現を目指す。

②漁業生産のスマート化

- ・底曳網漁業におけるIoT機器の導入や養殖業における自動給餌機など、従前から開発されてきたスマート技術の高度化やAI導入による新技術の開発等により、生産性の向上を図る。

③デジタル人材の確保育成

- ・IT企業や大学が連携した教育プログラムの適用によるアカデミーの開催や水産高校の探究学習との連携（高大連携）などにより、水産業デジタル人材の確保と育成を推進する。

④水産加工業・流通・小売りのデジタル化

- ・トレーサビリティアプリの開発・活用をととして、商材等生産の効率化や流通の見える化、デジタル化を図る。

⑤消費者向けプロモーションのデジタル化

- ・石巻産水産物の消費喚起に向け、デジタル化と連動するグリーントランスフォーメーション（GX）によりCO2削減等の付加価値を高め、地域ブランド力の強化に取り組む。